

安全管理に関する取り組みについて

株式会社中沢ヴィレッジ 森のスキーリフト 索道安全報告書

平成20年度 中沢ヴィレッジ森のスキー場

森のスキーリフト(固定循環式特殊索道) 1基

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、ご利用とご理解をいただきありがとうございます。
当社は経営理念の第1番目に安全輸送の確保を掲げており、法令を遵守し輸送の安全を確保しております。
本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや実態について自ら把握点検を行うとともに皆様にご理解頂くために公表するものです。また皆様の意見を安全輸送の参考にしながら、改善に努めてまいります。

(株)中沢ヴィレッジ 代表取締役 中沢秀雄

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第1番目は安全輸送の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知徹底しております。

(目的)

輸送の安全確保するために遵守すべき事業の方針、実施、管理体制の方法を定め、安全管理体制を確立し輸送の安全水準を向上していくことを目的とする。

(方針)

社長及び役員は、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めると共に、索道施設及び職員を総合活用して、輸送の安全を確保するための管理(索道施設の保守・運行管理)の方針、その他事業活動に関する必要な行動規範(全従業員の資質向上維持等)を具体的に定める。

(2) 安全目標

平成20年度の索道輸送安全目標(平成20年12月～21年3月)は設備不具合による事故及び人身傷害事故は0件でした。引き続き社長を先頭に安全輸送の確保に努め、事故0件を目標に研鑽していきます。

2. 索道施設の運行状況

平成20年度(平成20年12月～平成21年3月)

(1) 索道運転事故(索道人身傷害事故)

平成20年12月～平成21年3月は0件です。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪、雷、雪不足等)

雪不足の為、下記期間運行を停止しました。

①平成20年12月25日以前

②平成21年3月30日以降

強風のための運行停止はありません。

(3) インシデント(事故の兆候)

平成20年度、国土交通省へのインシデント発生報告はありません。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

関東運輸局主催の研修会、索道協会主催の研修会に出席受講しました。

また、社内で施設の技術研修を実施しています。

(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン前に救助訓練を実施しています。

(3) 営業開始前の検査・試験

営業運転開始前に、整備細則に基づき、各種試験・点検を実施しました。

(4) 始業点検

毎日、営業運行前に始業点検・試運転を実施して、お客様の安全を確認した上で、営業運行を行いました。

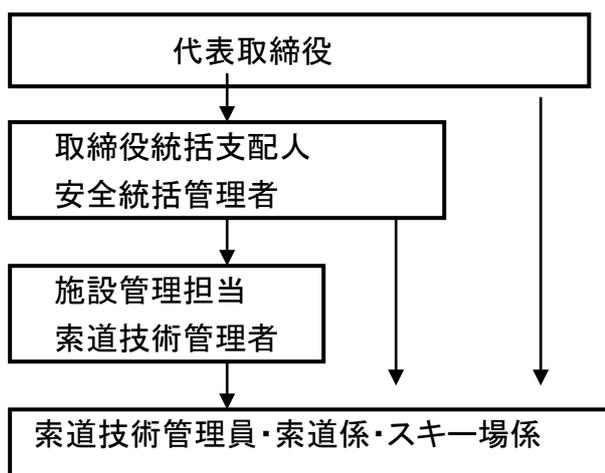
(5) 営業運転

お客様への声掛けや、お子様やスキー初心者の乗車サポート・マナー遵守の呼びかけを励行しました。

(6) 安全のための投資と支出

平成20年度は、森のスキーリフト電気関連のオーバーホールを実施しています。

5. 中沢ヴィレッジ森のスキーリフト安全管理体制（平成21年3月現在）



安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮下、索道の運行管理・索道施設保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮下、索道の運行管理・索道施設保守管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。

以上、当社の安全管理組織です。各責任者の責務を明確にしています。

6. 利用者の皆様へ

本年度は、雪もなんとか持ち、スキー場営業・スキーリフトの運行はほぼ、予定通りの営業日数で運行することができました。また、皆様のご協力も下、お陰様で、事故ヒヤリハット共に無く、問題なく営業シーズンを終えることができました。

今後も、ファミリーや初心者でも安全・安心のスキーリフトを目指して、皆様からお寄せいただいた声や、現場でのご指摘・ご要望を大切に参ります。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒377-1793 群馬県吾妻郡草津町618 株式会社中沢ヴィレッジ

保養公園部 森のスキーリフト

TEL 0279-88-3232 FAX 0279-88-4513

E-mail: hotel@nakazawavillage.co.jp